

I 高校生座談会

高校生が感じる 考える 男女共同参画

メンバー紹介(10名) ※氏名50音順

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 阿河 桃子さん(女) 城西高等学校(2年) | 緋田 栞那さん(女) 村上学園高等学校(2年) |
| 岡 昭伍さん(男) 飯山高等学校(2年) | 宮崎 拓光さん(男) 藤井高等学校(2年) |
| 佐藤 愛梨さん(女) 飯山高等学校(1年) | 宮武 奈穂さん(女) 丸亀高等学校(2年) |
| 島田 徹士さん(男) 丸亀高等学校(2年) | 村上 晴紀さん(男) 城西高等学校(2年) |
| 田中 佑槻さん(男) 村上学園高等学校(2年) | 森崎りおんさん(女) 藤井高等学校(1年) |

テーマ① 医学部入試における男女差別問題

※写真の位置は発言に関係ありません。

グループ1(男5名)

当然ダメ! だけど...

- ▶自分たちが今受験勉強しているのは実力を見て合否を決めてもらうため。それ以外の要素が合否に影響するなんてたまったものではない。
- ▶医療関係は大変だと思う。特に当直や人手不足という面では。女性は子育てをしながら仕事をするのが大変なのかなと感じるし、大学側の言い分も分かる気がする。



- ▶女性が子育てをするものと決めつけている考えもおかしい。(参加者賛同)
- ▶(男性有利という今回のテーマは)正直、「自分たち(男)にとっては有利になるからいいじゃん」と考えないこともない。でも、この思いは良いのだろうか。どちらの思いを優先させるのだろうか。今回、男性グループだったから、こう言えるけれど、女性がいれば言わないだろう。

こんな意見も

グループ2(女5名)

なぜ女性だけ? あり得ない!

- ▶腹立たしいと思った。今、2年生だが、もう受験のことも考えている。私は、文系だが、理系の子にとっては切実な問題。みんながんばっているのに。
- ▶男女差別は解決しているイメージがあった。まだあるんだと思った。努力してきたのに、勝手な偏見で。



- ▶大学へ入ることで、将来の職場などが決まる。(就職先も変わるの) 不利に扱われるのはあり得ない。
- ▶病院で働いていても、男性は育休を取る人は少なく、ずっと休まずに働いてくれるものだというイメージが強いのかなと思う。それに対して、女性は、妊娠出産などで長く休むからと考えられているのかと思う。
- ▶逆に家では女性の方が強い場合もあるかな。



こんな意見も

テーマ② 就職活動における男女差別問題

※写真の位置は発言に関係ありません。

グループ1(男3名・女2名)

能力があれば性別は関係ない

- ▶学校の先生に置き換えて考えてみると、女性教師が出産・子育てとなれば休むわけで、カバーする先生がいなければ自習となる。後々、補習をしないといけないという風になるとやっぱり困る。もともと、そういったことを想定して人員配置をするべきなのに、ぎりぎりの人数しかいないのが問題。



- ▶自分たちにも自分(の性)にあった職業はこれといったイメージがあるのでは。

- ▶男女差別は昔から続く「イメージ」が根底にある。ただ、経済を成長させながら今後やっていくには男女が協力しあって、やっていく必要がある。日本もできていると考えるものがあって、GGI、日本は健康分野では世界トップレベル。男性も女性も同じように健康でいられるという形が整えられている日本だから、他の分野に関しても、まだ未来は変えられると思う。当たり前と思う環境を自分たちの世代でもっと作っていきけるよう、考えていければ良いと思う。



- ▶「イメージ」を変えないと差別はなくなる。

グループ2(男2名・女3名)

女性が働く環境が整っていない

- ▶消防士など、男性と女性が試験を受けた場合、男性を雇った方が良いのかな。
- ▶制度が社会の変化や時代のニーズについていけない。共働き世帯は年々すごく増えているにもかかわらず、このままだと、もうお母さんは家庭と仕事と両方みないといけない。二重労働。



- ▶男性で育休を取った人も、(子育て時間は)一日2時間くらいしか育児しないと聞くと、男性の意識の低さが見受けられる。男性も変わらないといけない。

- ▶男女平等と言っても、正直、学生の時はそこまで(男女差別は)感じない。それを話し合うことが大事。大人の方が、男女差別を感じているので、大人の方が対策すべき。

●課題解決に政治の関わりも重要! そこで政治についても発言

- ▶女性議員の数が少ないというのがあったが、議員さんが、何をしているのか、テレビで取り上げていることしか分からない。自分とは遠くて世界が違うと思うってしまう。だからなりたいたいと思う人が少ないと思う。



全てを掲載できていません。詳しくは市ホームページに掲載しています。



II 保育所保護者アンケート

子育て期の保護者の思い

今回、男女共同参画モデル保育所である富熊保育所の保護者を対象にアンケートを実施しました。これから育つ我が子に対し、保護者としてどのような姿を見せたいのか記載内容の一部をご紹介します。



父親の思い

- あいつなどから始まり、人付き合い、人とかかわる上で大人が手本を見せ、マナー、礼儀の備わる子に育つように努めたい。
- 一生懸命ものごとに取り組む姿を見せたい。内容はなんでもよい。姿を見せることに意味(影響)がある。

母親の思い

- 一生懸命に働く姿や周りの人と仲良くしたり、優しくする姿。
- 子どもが将来、自分の家庭のような家庭を作りたいと思ってもらえるような行動をしたい。

まとめ

①の座談会では、ジェンダー意識(社会的に作られた性別役割分担意識)の根深さ、解決に向けた大人への要求、自身の行動責任など、活発な意見が飛び交いました。話し合いの中で「男らしさ、女らしさ」といった意識が自分たちを縛り付けていることに気づいた場面もありました。②の保育所保護者アンケートでも、男(女)らしくではなく、人としてこうあってほしいと願う親の気持ちがあがりました。誰もが差別は良くないと知っています。日々の小さな積み重ねがジェンダー意識を生むかもと自身を振り返り、意見を出し合うことが大切だと思います。